

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2018年7月31日から無期限です。	
運用方針	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド受益証券
	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	先進国の医療テクノロジー関連企業の株式
組入制限	アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）	株式への実質投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。同一銘柄の株式への実質投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	毎決算時（年2回、原則毎年1月および7月の各15日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。	

愛称：みらいメディカル  
アムンディ・  
次世代医療テクノロジー・  
ファンド（年2回決算型）

運用報告書（全体版）

第15期（決算日 2026年1月15日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒105-0021 東京都港区東新橋1丁目9番2号

お客様サポートライン：050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

> 5156446・5237548 >

# アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

## ■最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			株式組入 比 率	純資産 総 額
	(分 配 落)	税込み 分配金	期 中 騰 落 率		
	円	円	%	%	百万円
11期（2024年1月15日）	11,093	500	2.9	96.8	46,079
12期（2024年7月16日）	12,096	500	13.5	97.5	48,656
13期（2025年1月15日）	12,107	500	4.2	97.1	46,722
14期（2025年7月15日）	11,132	500	△ 3.9	97.4	43,009
15期（2026年1月15日）	11,531	500	8.1	98.1	42,736

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は実質組入比率を記載しています。以下同じ。

(注3) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

## ■当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額		株式組入 比 率
		騰 落 率	
(期 首)	円	%	%
2025年7月15日	11,132	—	97.4
7月末	11,368	2.1	95.6
8月末	11,104	△0.3	96.2
9月末	10,773	△3.2	94.6
10月末	11,547	3.7	94.8
11月末	12,113	8.8	95.6
12月末	11,869	6.6	96.3
(期 末)			
2026年1月15日	12,031	8.1	98.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。



## 【投資環境】

### <世界株式市場>

当期のグローバル株式市場は短期間の調整が何度かあったものの、反発局面では取引レンジを切り上げて高値を更新する動きが続きました。米国の輸入関税の世界景気への影響をめぐる不確実性が薄れ、企業業績面では活発なA I（人工知能）投資の恩恵が情報技術だけではなく電力インフラなどにもおよんで上方修正が続き、金融面では米国の利下げなどが株価の上昇を支えました。セクター別でみると、当期前半のリード役はA I 関連銘柄の多い情報技術やコミュニケーション・サービスで、好業績を背景に大きく上昇しました。当期半ばには米国の関税免除の期待から薬品を中心にヘルスケアが上昇に転じ、長期金利の低下と電力需要増加を支えに公益事業も反発しました。当期後半には、貴金属や非鉄などの商品市況の上昇を受けて素材が急上昇し、同期間に伸び悩んだ情報技術やコミュニケーション・サービスに代わって通期の上昇率も最大となりました。また、一般消費財・サービスは自動車、金融は銀行、資本財・サービスは電力インフラや防衛関連銘柄を中心に上昇し、出遅れていたエネルギーも当期末にかけて上昇の勢いが加速しました。一方、生活必需品と不動産は期を通じて小動きにとどまりました。地域別では、収益性や企業統治改善が評価された日本株の上昇が通期で際立つものとなりました。また、当期前半はA I 関連銘柄を中心に先行した米国株に比べて出遅れが目立っていた欧州株も、物色対象が広がった期後半に再評価され、通期では米国に並ぶ上昇率となりました。

### <為替市場>

当期初の為替市場では、日米の金融政策の方向性の違いが円高要因となる一方、国内政局の不透明感や財政悪化懸念が円安要因となり、2025年10月初めまでの米ドル／円相場は1米ドル148円を挟んだ比較的狭いレンジで推移しました。10月、高市政権が発足後は、財政悪化懸念や日銀の利上げが遅れるとの観測から円安基調となり、当期末は158円台となりました。ユーロや英ポンドに対しても、当期初は小動きで10月以降円安に転じる動きでした。また、商品価格の上昇を背景に豪ドルが当期末にかけて特に強い動きとなりました。

## 【ポートフォリオ】

### <当ファンド>

当ファンドは、アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンドを通して、主に先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っております。当期においても、運用の基本方針に基づきマザーファンドの組入比率は高位を維持しました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

## <アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド>

当マザーファンドは、バリュエーションと業績見通しなどの変化に対応して銘柄入れ替えと組入比率の調整を行いながら、40銘柄あまりで構成されるポートフォリオ運用を行いました。期中の全売却は、失望的な決算を発表し見通しも悪化したインスパイア・メディカル・システムズ、アンプリフォン、シスメックス、および株価が目標に達したメダクタ・グループの4銘柄です。大きく反発したアイデックスラボラトリーズやグラウコスも組入れを下げました。一方、義肢・装具のオットーボック、人工関節のエノビス、創傷管理のソルベンタムに新規に投資し、ストラウマン・ホールディング、コンバテック・グループ、アルコンなどを買い増しました。ポートフォリオ全体としては、消耗品関連の比率が上昇し、外科手術や診断機器関連は比率が低下しました。

基準価額に対しては、為替要因が通期で7%近いプラス寄与となりました。株式要因も全体としてはプラス寄与ですが、糖尿病関連と整形外科関連ではマイナス寄与でした。心血管関連では、メドトロニック、ペナンブラ、リバノバなど、プラス寄与銘柄も多かったものの、9月以降利益確定圧力から反落したボストン・サイエンティフィックのマイナス寄与も大きなものとなりました。消耗品関連は5月の急落から反発したベクトン・ディッキンソンをはじめ、期を通じて総じて堅調でした。診断機器は好決算で8月に大きく上昇したアイデックスラボラトリーズや、期を通じて堅調であったサーモフィッシャーサイエンティフィックを中心にプラスに寄与しました。画像診断、非侵襲的治療機器などもプラスに寄与した一方、糖尿病関連では、肥満治療薬の普及でグルコース値モニタリング機器などの市場が縮小する観測に加え、製品の自主回収が懸念されたデクスコムはマイナス寄与が大きなものとなりました。整形外科関連では、関税の影響と割高感などからストライカーが下落したことが足かせでした。外科手術関連では、成長が続くインテュイティブサージカルが最大のプラス寄与となったものの、失望的な業績で下落したインスパイア・メディカル・システムズが最大のマイナス寄与となり、相殺されました。

(CPRアセットマネジメント)

## 【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、分配を行いました（分配金額および分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

## 【今後の運用方針】

### <当ファンド>

アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンドへの投資比率は今後も高位を維持する予定です。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

## <アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド>

米国の関税や中国の国産優遇策をはじめとする保護主義的措置の見通しは2026年も大きなリスク要因で、各企業の見通しが慎重である一因となっています。一方、各種調査や企業の開示情報からは、病院における資本集約的な機器に対する需要が改善していることが示され、この傾向が今年投入される新製品の立ち上がりの支えになることが期待されます。中国市場における逆風も見通しにかなり織り込まれており、今後は潜在的な上振れ要因になるとみています。ロボット支援手術、高度画像診断、循環器や糖尿病用の埋め込み型デバイスなど、差別化された製品を提供する大手ハイテク企業が回復局面の果実の大半を享受するものとみています。ポートフォリオはこのような治療領域をカバーしながら、成長性に確信の持てる有望銘柄をバリュエーションに留意して入れ替えていく方針です。

(CPRアセットマネジメント)

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第15期 (2025年7月16日 ～2026年1月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 )  ( 受 託 会 社 )	104円 ( 51) ( 51)  ( 2)	0.904% (0.444) (0.444)  (0.017)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 ( 株 式 )	0 ( 0)	0.003 (0.003)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 ( 株 式 )	1 ( 1)	0.005 (0.005)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 ( 保 管 費 用 )  ( 監 査 費 用 ) ( 印 刷 費 用 )	2 ( 1)  ( 1) ( 0)	0.014 (0.005)  (0.005) (0.003)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用
合 計	107	0.926	

期中の平均基準価額は11,462円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

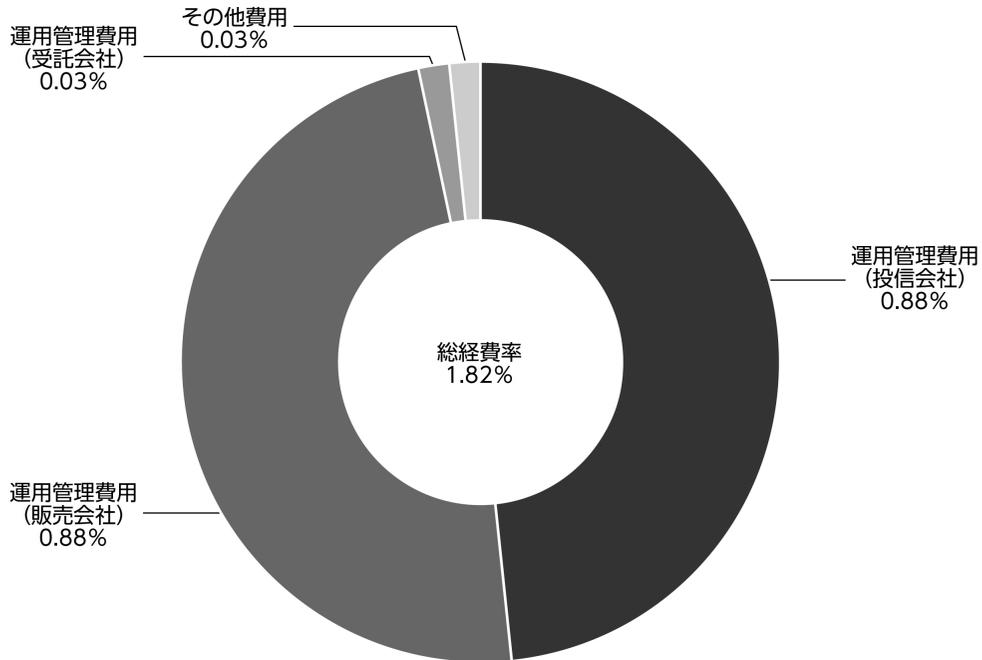
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応する費用を含みます。

(注5) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

# アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

## ■売買及び取引の状況（2025年7月16日から2026年1月15日まで）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	69,232	150,000	1,788,835	4,100,000

（注）単位未満は切捨てです。

## ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	10,940,564千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	41,736,369千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.26

（注1）単位未満は切捨てです。

（注2）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

（注3）金額は、外貨建金額を日本の対顧客電信売買相場の仲値より邦貨換算したものです。

## ■利害関係人との取引状況等（2025年7月16日から2026年1月15日まで）

期中の利害関係人との取引状況

<アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）>

該当事項はありません。

<アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド>

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引	2,848	—	—	6,548	300	4.6

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該ベビーファンドのマザーファンド所有口数の割合です。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、クレディ・アグリコル銀行です。

# アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

## ■組入資産の明細（2026年1月15日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	19,599,735	17,880,133	42,683,453

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド全体の受益権口数は、当期末17,880,133千口です。

## ■投資信託財産の構成（2026年1月15日現在）

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
	千円	%
アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド	42,683,453	94.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,426,099	5.4
投 資 信 託 財 産 総 額	45,109,552	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（40,302,478千円）の投資信託財産総額（42,783,021千円）に対する比率は94.2%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、2026年1月15日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=158.58円、1ユーロ=184.54円、1英ポンド=213.10円、1スイスフラン=198.18円、1デンマーククローネ=24.70円、1オーストラリアドル=105.98円です。

# アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド（年2回決算型）

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2026年1月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	45,109,552,968円
コール・ローン等	2,326,061,106
アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド(評価額)	42,683,453,626
未 収 入 金	100,000,000
未 収 利 息	38,236
(B) 負 債	2,373,413,275
未 払 収 益 分 配 金	1,853,042,072
未 払 解 約 金	123,988,446
未 払 信 託 報 酬	392,683,281
そ の 他 未 払 費 用	3,699,476
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	42,736,139,693
元 本	37,060,841,454
次 期 繰 越 損 益 金	5,675,298,239
(D) 受 益 権 総 口 数	37,060,841,454口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,531円

(注記事項)

期首元本額	38,634,724,938円
期中追加設定元本額	1,867,442,277円
期中一部解約元本額	3,441,325,761円

## ■損益の状況

当期（自2025年7月16日 至2026年1月15日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,686,644円
受 取 利 息	1,686,644
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	3,691,404,693
売 買 益	3,793,502,001
売 買 損	△ 102,097,308
(C) 信 託 報 酬 等	△ 396,382,757
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	3,296,708,580
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	799,793,214
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	3,431,838,517
(配 当 等 相 当 額)	( 3,146,213,765)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 285,624,752)
(G) 計 (D+E+F)	7,528,340,311
(H) 収 益 分 配 金	△1,853,042,072
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	5,675,298,239
追 加 信 託 差 損 益 金	3,431,838,517
(配 当 等 相 当 額)	( 3,147,225,834)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 284,612,683)
分 配 準 備 積 立 金	2,243,459,722

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するため要する費用  
当ファンドの投資対象である親投資信託の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、信託約款第39条に規定する計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年10,000分の80以内の率を乗じて得た額を支払っております。

分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益（125,119,269円）、費用控除後の有価証券等損益額（1,534,939,344円）、信託約款に規定する収益調整金（3,431,838,517円）および分配準備積立金（2,436,443,181円）より分配対象収益は7,528,340,311円（10,000口当たり2,031円）であり、うち1,853,042,072円（10,000口当たり500円）を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

決 算 期	第15期
1 万口当たりの分配金（税込み）	500円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項 目	第15期
	(2025年7月16日～2026年1月15日)
当期分配金	500
（対基準価額比率）	(4.156%)
当期の収益	447
当期の収益以外	52
翌期繰越分配対象額	1,531

(注1) 「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2) 「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

# アムンディ・次世代医療テクノロジー・マザーファンド

## 運用報告書

《第7期》

決算日：2025年7月15日

(計算期間：2024年7月17日～2025年7月15日)

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに期中の運用状況についてご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に投資を行うことにより、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。個別銘柄選択を重視した運用を行います。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用にあたっては、CPRアセットマネジメントに運用の指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	先進国の医療テクノロジー関連企業の株式
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。同一銘柄の株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。

■最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		株式組入率	純資産額
		騰落率	騰落率		
	円		%	%	百万円
3期 (2021年7月15日)	15,719		32.9	97.4	50,687
4期 (2022年7月15日)	15,175	△	3.5	96.9	45,632
5期 (2023年7月18日)	17,965		18.4	94.8	47,243
6期 (2024年7月16日)	21,434		19.3	97.7	48,551
7期 (2025年7月15日)	21,868		2.0	97.8	42,859

(注) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

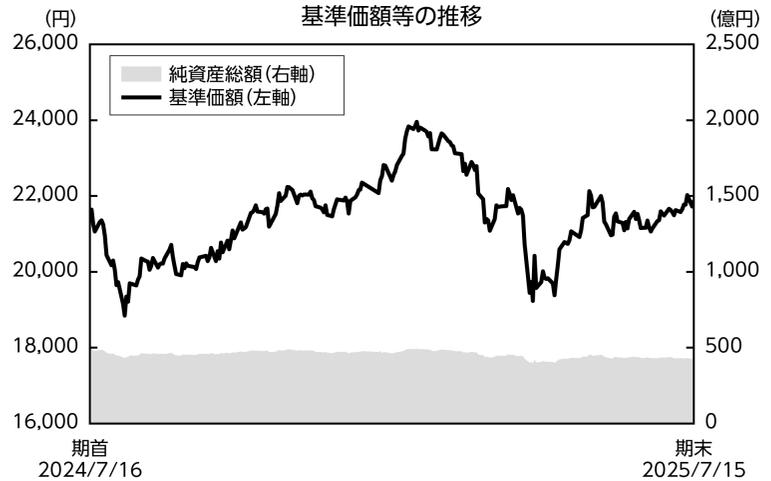
■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準	価額		株式組入率
		騰落率	騰落率	
(期首)	円		%	%
2024年7月16日	21,434		—	97.7
7月末	20,060	△	6.4	96.8
8月末	20,352	△	5.0	97.3
9月末	20,283	△	5.4	96.9
10月末	21,668		1.1	96.5
11月末	21,731		1.4	98.4
12月末	22,270		3.9	98.0
2025年1月末	23,804		11.1	97.4
2月末	22,563		5.3	97.7
3月末	21,542		0.5	96.5
4月末	20,739	△	3.2	97.5
5月末	21,333	△	0.5	97.0
6月末	21,663		1.1	97.4
(期末)				
2025年7月15日	21,868		2.0	97.8

(注) 騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第7期首	21,434円
第7期末	21,868円
騰落率	2.0%



【基準価額の主な変動要因】

当ファンドの基準価額は、前期末比で上昇しました。

上昇要因

株式市場全体の上昇に加え、心血管／神経関連、外科手術関連、整形外科関連などの好決算銘柄の組入比率を高水準に維持したことが、特に当期前半の基準価額上昇に寄与しました。

下落要因

2025年2月後半から4月上旬にかけて株式市場全体が米国の関税政策をめぐる不透明感から大きく下落し、医療テクノロジー銘柄も糖尿病関連、画像診断関連や外科手術関連など、大きく調整する分野がみられました。期初から9月半ばにかけて、および2025年1月から4月半ば過ぎにかけて円高が進む場面があり、為替が通期で基準価格に大きなマイナス寄与となりました。

**【投資環境】****<世界株式市場>**

当期初のグローバル株式市場は、急速な円高への巻き戻しにともなってポジション調整を余儀なくされた投機資金による売り圧力や、景気見通しへの不安などから、大型成長株を中心に大きく下落しましたが、2024年8月上旬を底に反発に転じ、FRB（米連邦準備理事会）が9月の会合で利下げに転じたことや、11月に米大統領選挙でビジネス志向の強いトランプ氏が勝利したこと、好調な企業決算などを背景に年明けの2月半ばまで大幅に続伸しました。しかし、関税などのトランプ米大統領の政策に対する懸念が景気指標の悪化となって表面化したことで株価は下落に転じ、米国の高率の関税に中国や欧州も対抗する姿勢を示したことで4月上旬に株価は急落しました。その後、トランプ大統領はこれらの関税の一部について適用の一時停止を発表し、この間に各国との交渉が進むとの期待から株価は反発に転じました。米中が貿易協議で歩み寄る姿勢をみせ、実際に関税引き下げで合意があったことや、企業業績が引き続き良好であったこと、また、インフレ懸念の後退を受けた米国の追加利下げ期待などで株価は5月以降も続伸し、2月の高値を大きく上回って当期末を迎えました。通期では金融、公益事業、コミュニケーション・サービス、資本財・サービスなどが大きく上昇した一方、ヘルスケアは期を通じて軟調に推移し、素材やエネルギーも期初の水準前後まで戻すにとどまりました。

**<為替市場>**

当期初の為替市場では、日銀の市場介入への警戒や利上げ観測から円高方向への急激な巻き戻しがみられ、期初の1米ドル158円台から9月半ばには140円近くまで円高・米ドル安が進みました。しかし、米国の景気が底固く、追加利下げの余地が小さいとの認識にともなって米国の長期金利が反発したため、年明けにかけて期初の水準まで戻す円安基調となりました。その後は日銀の追加利上げや、米国の長期金利の下落などから円高基調に転換し、米国の政策の不確実性などへの懸念から4月には米ドルが一段と下落して140円台を記録しました。4月下旬以降は、日本の実質金利が相対的に低いことが再び意識されて緩やかな円安となり、1米ドル147円前後で期末を迎えました。ユーロなど欧州通貨は、期初から年明けまでは対円で弱含みの推移でしたが、米国への信認低下の受け皿としての役割に加え、財政拡大による景気刺激への期待などから当期末にかけて反発に転じ、ユーロは期初の水準を回復しました。

**【ポートフォリオ】**

当マザーファンドは、バリュエーションと業績見通しなどの変化に対応して銘柄入れ替えと組入比率の調整を行いながら、40銘柄あまりで構成されるポートフォリオ運用を行いました。新規投資は心拍モニタリング機器を手掛けるアイリズム・テクノロジーズなどの4銘柄、全売却は買収対象となって株価が大きく上昇したイナリメディカルなどの4銘柄で、個別銘柄の入れ替えは限定的でした。全体としては、肥満治療薬の普及で市場規模が縮小する可能性のある糖尿病関連や消耗品関連への配分を引き下げ、パフォーマンスが良好だった心血管関連でも一部利益確定した一方、画像診断関連や非侵襲的治療機器関連は新規投資や買い増しで配分を引き上げました。また、好パフォーマンスの整形外科関連や診断機器は比率が自然増、相対的にアンダーパフォームした外科手術関連は比率が自然減となりました。

基準価額に対しては、期初および1月から4月半ば過ぎにかけての円高が重荷となり、通期でも為替要因が5%近いマイナス寄与となりました。株式要因は、期初に株式市場全体の下落や、デクスコムなどの糖尿病関連銘柄の下落などで、マイナスとなる場面がありましたが、組入比率の高いインテュイティブサージカルや、ボストン・サイエンティフィックなどを中心に外科手術関連、心血管／神経関連の組入銘柄が安定的に上昇したことで期前半は大きなプラス寄与となりました。2月以降、糖尿病関連、外科手術関連、画像診断関連などを筆頭に幅広くバリュエーションが調整し、4月には期初からの累積で株式要因の寄与がマイナスに転じる場面もありましたが、好決算の整形外科関連、診断機器、心血管関連銘柄などを中心に短期間でプラス寄与を回復しました。5月以降は消耗品関連や外科手術関連などの一部の分野が足かせとなったものの、全体としてはプラス寄与を保って当期末を迎えました。

(CPRアセットマネジメント)

**【今後の運用方針】**

医療テクノロジー関連銘柄全体としては二桁増益のペースが継続しています。今後も人口の高齢化や予防医療における検査の重要性、生活の質の改善につながる非侵襲的治療機器への需要などが医療テクノロジー関連銘柄に長期的な追い風になることに加え、AI（人工知能）をはじめとする技術革新が医療テクノロジーの構造的な成長の主な原動力の1つになるとみています。AIは診断、治療および患者の日常生活をサポートする製品開発イノベーションの加速装置としての役割を果たすほか、製造工程の信頼性や安全性強化、業務効率改善のための強力なツールとして、あらゆる医療テクノロジー・セグメントに恩恵をおよぼすと期待しています。ポートフォリオは成長の力強さが際立つ心血管関連やロボット支援手術をはじめ、様々な治療領域を幅広くカバーしながら、成長性に確信の持てる有望銘柄をバリュエーションに留意して入れ替えていく方針です。

(CPRアセットマネジメント)

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第7期 (2024年7月17日 ～2025年7月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売買委託手数料 (株 式)	1円 (1)	0.005% (0.005)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	2 (2)	0.011 (0.011)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	3	0.017	

期中の平均基準価額は21,500円です。

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 売買及び取引の状況 (2024年7月17日から2025年7月15日まで)  
株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上 場	千株 —	千円 —	千株 61	千円 198,626
	ア メ リ カ	百株 3,667	千米ドル 39,882	百株 6,219	千米ドル 73,936
外 国	ユ ド イ ツ	800	千ユーロ 4,411	758	千ユーロ 4,063
	イ タ リ ア	432	834	11	22
	フ ラ ン ス	— ( 8)	— ( 197)	82	1,728
	ベ ル ギ ー	—	—	114	215
国	イ ギ リ ス	—	千英ポンド —	1,899	千英ポンド 1,664
	ス イ ス	65	千スイスフラン 526	178 ( —)	千スイスフラン 2,371 ( 7)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	デンマーク	百株 111	千デンマーククローネ 8,262	百株 149	千デンマーククローネ 12,712
	オーストラリア	—	千オーストラリアドル —	8	千オーストラリアドル 243

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) ( ) 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれていません。

### ■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	20,267,506千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	44,557,622千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.45

(注1) 単位未満は切捨てです。

(注2) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

### ■主要な売買銘柄 (2024年7月17日から2025年7月15日まで)

株 式

買 付 銘 柄	株 数			平均単価 円	売 付 銘 柄	株 数		
	千株	千円	円			千株	千円	円
MEDTRONIC PLC(アメリカ)	57	799,194	13,892	INTUITIVE SURGICAL INC(アメリカ)	22	1,685,625	75,874	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC(アメリカ)	8	605,316	67,952	BOSTON SCIENTIFIC(アメリカ)	115	1,637,451	14,192	
STRYKER(アメリカ)	10	568,944	54,875	INARI MEDICAL INC(アメリカ)	94	1,141,242	12,098	
GE HEALTHCARE TECHNOLOGY(アメリカ)	60	541,431	8,880	ABBOTT LABORATORIES(アメリカ)	42	797,114	18,875	
IRHYTHM TECHNOLOGIES INC(アメリカ)	47	488,128	10,193	STRYKER(アメリカ)	12	723,734	57,252	
INTUITIVE SURGICAL INC(アメリカ)	6	485,619	74,561	INSULET CORP(アメリカ)	15	693,479	45,107	
GLAUKOS CORP(アメリカ)	25	421,217	16,259	MEDTRONIC PLC(アメリカ)	50	687,822	13,625	
ABBOTT LABORATORIES(アメリカ)	21	401,592	18,683	GERRESHEIMER AG(ユーロ・ドイツ)	63	555,509	8,777	
GERRESHEIMER AG(ユーロ・ドイツ)	33	374,135	11,309	AXONICS INC(アメリカ)	46	492,453	10,625	
SIEMENS HEALTHINEERS AG(ユーロ・ドイツ)	47	336,484	7,157	DANAHER CORP(アメリカ)	16	487,801	28,968	

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 金額の単位未満は切捨てです。

(注3) 金額は、外貨額を約定日の属する月の月末(決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■利害関係人との取引状況等 (2024年7月17日から2025年7月15日まで)

期中の利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 3,220	百万円 —	% —	百万円 9,620	百万円 600	% 6.2

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは、クレディ・アグリコル銀行です。

■組入資産の明細 (2025年7月15日現在)

(1) 国内株式

銘 柄	期首 (前期末)	当 期 末		
	株 数	株 数	評 価 額	
	千株	千株	千円	
電気機器 (16.0%)				
シスメックス	140.4	128.8	318,264	
精密機器 (84.0%)				
テルモ	168.7	154.9	378,265	
オリンパス	385.1	352.6	586,373	
HOYA	41.9	38.8	703,832	
合計	株 数 ・ 金 額	736	675	1,986,736
	銘柄数 < 比率 >	4	4	<4.6%>

(注1) 銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨てです。ただし、評価額が単位未満の場合は小数で記載しています。

(注4) -印は組入れなしです。以下同じ。

(2) 外国株式

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末				業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)	百株	百株	千米ドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	2,258	2,051	27,084	4,000,149	ヘルスケア機器・サービス	
BAXTER INTL.	309	391	1,116	164,966	ヘルスケア機器・サービス	
BECTON DICKINSON	462	422	7,488	1,105,965	ヘルスケア機器・サービス	
BOSTON SCIENTIFIC	3,652	2,662	27,773	4,101,834	ヘルスケア機器・サービス	
DANAHER CORP	149	87	1,730	255,608	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	1,340	1,056	8,272	1,221,819	ヘルスケア機器・サービス	
RESMED INC	81	74	1,886	278,543	ヘルスケア機器・サービス	
STRYKER	743	720	28,223	4,168,384	ヘルスケア機器・サービス	
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	38	94	4,002	591,058	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INSPIRE MEDICAL SYSTEMS INC	292	328	4,280	632,221	ヘルスケア機器・サービス	
STERIS PLC	153	140	3,166	467,657	ヘルスケア機器・サービス	
MEDTRONIC PLC	1,441	1,511	13,563	2,003,153	ヘルスケア機器・サービス	
GLAUKOS CORP	303	473	4,936	729,121	ヘルスケア機器・サービス	
PENUMBRA INC	235	169	4,066	600,549	ヘルスケア機器・サービス	

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ・・・アメリカン市場)	百株	百株	千米ドル	千円		
INTUITIVE SURGICAL INC	661	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
(アメリカ・・・米国店頭市場)						
IDEXX LABORATORIES INC	158	145	7,709	1,138,587	ヘルスケア機器・サービス	
MERIT MEDICAL SYSTEMS INC	492	513	4,802	709,224	ヘルスケア機器・サービス	
ALIGN TECHNOLOGY INC	57	144	2,885	426,205	ヘルスケア機器・サービス	
REPLIGEN CORP	—	20	244	36,107	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INTUITIVE SURGICAL INC	—	504	26,040	3,845,990	ヘルスケア機器・サービス	
DEXCOM INC	1,228	1,153	9,845	1,454,076	ヘルスケア機器・サービス	
ATRICURE INC	1,269	1,160	3,632	536,547	ヘルスケア機器・サービス	
INSULET CORP	277	123	3,619	534,515	ヘルスケア機器・サービス	
TANDEM DIABETES CARE INC	373	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
AXONICS INC	463	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
GE HEALTHCARE TECHNOLOGY	483	859	6,398	944,966	ヘルスケア機器・サービス	
INARI MEDICAL INC	943	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
LANTHEUS HOLDINGS INC	281	266	2,214	327,053	ヘルスケア機器・サービス	
LIVANOVA PLC	767	807	3,548	524,112	ヘルスケア機器・サービス	
NOVOCURE LTD	—	185	323	47,814	ヘルスケア機器・サービス	
IRHYTHM TECHNOLOGIES INC	—	298	4,152	613,334	ヘルスケア機器・サービス	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	18,922 27	16,370 27	213,010 —	31,459,569 <73.4%>	
(ユーロ・・・ドイツ)			千ユーロ			
GERRESHEIMER AG	302	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SIEMENS HEALTHINEERS AG	1,324	1,669	7,676	1,322,906	ヘルスケア機器・サービス	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,626 2	1,669 1	7,676 —	1,322,906 <3.1%>	
(ユーロ・・・イタリア)						
AMPLIFON SPA	—	420	822	141,828	ヘルスケア機器・サービス	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	— —	420 1	822 —	141,828 <0.3%>	
(ユーロ・・・フランス)						
ESSILORLUXOTTICA	545	496	12,095	2,084,606	ヘルスケア機器・サービス	
BIOMERIEUX	291	266	3,186	549,182	ヘルスケア機器・サービス	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	836 2	762 2	15,282 —	2,633,788 <6.1%>	
(ユーロ・・・ベルギー)						
FAGRON	1,338	1,223	2,704	466,072	ヘルスケア機器・サービス	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,338 1	1,223 1	2,704 —	466,072 <1.1%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,801 5	4,076 5	26,485 —	4,564,596 <10.7%>	
(イギリス・・・英国市場)			千英ポンド			
SMITH & NEPHEW	2,646	1,015	1,136	225,587	ヘルスケア機器・サービス	
CONVATEC GROUP PLC	3,131	2,862	741	147,117	ヘルスケア機器・サービス	
小 計	株数・金額 銘柄数<比率>	5,777 2	3,878 2	1,878 —	372,705 <0.9%>	

銘 柄	期首(前期末)	当	期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(スイス・・・スイス電子市場)	百株	百株	千スイスフラン	千円		
SONOVA HOLDING AG	137	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
ALCON INC	1,219	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
MEDACTA GROUP SA	127	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
STRAUMANN HOLDING AG-REG	98	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
(スイス・・・V I R T - X市場)						
SONOVA HOLDING AG	—	88	2,034	376,847	ヘルスケア機器・サービス	
ALCON INC	—	1,174	8,185	1,516,428	ヘルスケア機器・サービス	
MEDACTA GROUP SA	—	116	1,601	296,698	ヘルスケア機器・サービス	
STRAUMANN HOLDING AG-REG	—	89	932	172,813	ヘルスケア機器・サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,582	1,468	12,753	2,362,788	
	銘 柄 数 < 比率 >	4	4	—	< 5.5 % >	
(デンマーク・・・コペンハーゲン市場)			千デンマーククローネ			
COLOPLAST A/S	688	650	39,145	903,874	ヘルスケア機器・サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	688	650	39,145	903,874	
	銘 柄 数 < 比率 >	1	1	—	< 2.1 % >	
(オーストラリア・・・オーストラリア市場)			千オーストラリアドル			
COCHLEAR LIMITED	96	88	2,653	256,727	ヘルスケア機器・サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	96	88	2,653	256,727	
	銘 柄 数 < 比率 >	1	1	—	< 0.6 % >	
合 計	株 数 ・ 金 額	30,869	26,532	—	39,920,261	
	銘 柄 数 < 比率 >	40	40	—	< 93.1 % >	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成 (2025年7月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	41,906,998	97.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	952,875	2.2
投 資 信 託 財 産 総 額	42,859,873	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (40,562,318千円) の投資信託財産総額 (42,859,873千円) に対する比率は94.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2025年7月15日現在における邦貨換算レートは、1米ドル=147.69円、1ユーロ=172.34円、1英ポンド=198.44円、1スイスフラン=185.26円、1デンマーククローネ=23.09円、1オーストラリアドル=96.74円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年7月15日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	42,859,873,011円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	927,187,633
株 式(評価額)	41,906,998,226
未 収 配 当 金	25,470,577
未 収 利 息	2,980
差 入 委 託 証 拠 金	213,595
(B) 負 債	5,940
そ の 他 未 払 費 用	5,940
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	42,859,867,071
元 本	19,599,735,385
次 期 繰 越 損 益 金	23,260,131,686
(D) 受 益 権 総 口 数	19,599,735,385口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,868円

(注記事項)

期首元本額 22,651,888,375円

期中追加設定元本額 94,944,221円

期中一部解約元本額 3,147,097,211円

(当期末元本の内訳)

アムンディ・次世代医療テクノロジー・ファンド(年2回決算型) 19,599,735,385円

■損益の状況

当期 (自2024年7月17日 至2025年7月15日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	333,273,719円
受 取 配 当 金	311,035,321
受 取 利 息	10,582,544
そ の 他 収 益 金	11,655,854
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	579,898,591
売 買 益	6,800,970,204
売 買 損	△ 6,221,071,613
(C) そ の 他 費 用 等	△ 4,901,187
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	908,271,123
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	25,899,707,573
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	105,055,779
(G) 解 約 差 損 益 金	△ 3,652,902,789
(H) 計 (D+E+F+G)	23,260,131,686
次 期 繰 越 損 益 金(H)	23,260,131,686

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

《お知らせ》

- ・投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、2025年4月1日付けで投資信託約款に所要の変更を行いました。